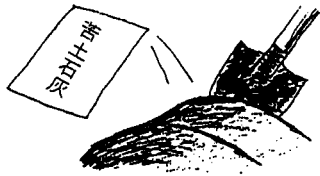
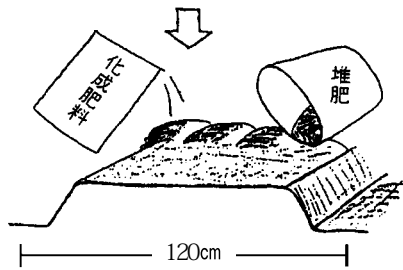


①畑の準備



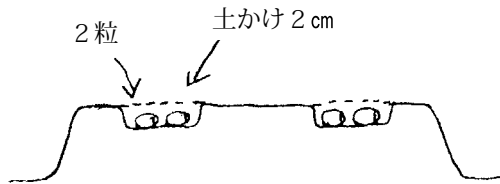
は種10日前に10㎡あたり苦土石灰1.2kgを施しよく耕します。



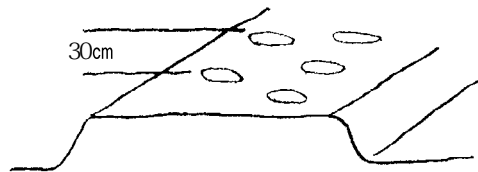
基肥として10㎡あたり堆肥20kgと化成肥料200gを施し120cm程度のうねを作ります。

②種まき・植えつけ

・直まき



直まきでは1ヶ所に2粒ずつまき2cm程度土かけをします



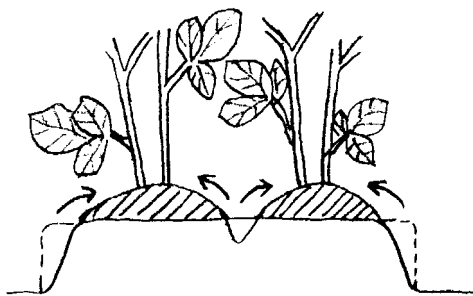
株間30cm二条植えとします

・育苗



植えつけ苗
本葉1.5枚

③植えつけ後の管理



- ・花が咲き始めた頃化成肥料を10㎡あたり200g追肥します。
- ・追肥のとき株が倒れないように土寄せします。

④収 穫



さやの色が鮮やかになり豆粒が大きくなり指でつまむと豆がとび出す頃が収穫適期です。

今月植える (まく) 野菜	今月収穫できる野菜
ホウレンソウ、チンゲンサイ、ユカブ、シュンギク、バレイショ (春)、青ネギ、サラダナ、ミツバ、ニラ、洋ニンジン、ツケナ類、ゴボウ、アスパラガス	キャベツ、シュンギク、アスパラガス、ハクサイ、パセリ、ニンジン、ブロッコリー、タカナ、葉ゴボウ、芽キャベツ、ワケギ、ホウレンソウ、青ネギ、ハナヤサイ

楽しい家庭菜園

県農業試験場
黒川 領太

エダマメ

東南アジア原産のマメ科の植物、若い未熟なダイズを利用するものがエダマメです。

「畑の肉」とも言われるようにタンパク質を多く含むことが知られていますが、カルシウムやビタミンB、Cを多く含みマメ類の中でも栄養価は高いものとなっています。

栽培のポイント

できるだけ連作を避け、マメ科の野菜を作ったところは二〜三年休ませたほうがよいでしょう。有機物が不足した土では実の着きが悪くなるので堆肥など有機物を施し、土作りを行います。

家庭菜園用品種

どのダイズでもエダマメになりますが、品質の面から専用の品種がよいでしょう。四月〜五月まきでは「狩勝」「白鳥」などといった品種がよいでしょう。

また、黒大豆をエダマメとして利用してもおいしく食べられます。

また、黒大豆をエダマメとして利用してもおいしく食べられます。

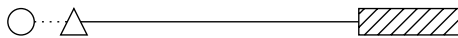
畑の準備

種まき一〇日前に一〇㎡当たり苦土石灰一・二kgを施し、よく耕します。

基肥として一〇㎡当たり堆肥二〇kgと化成肥料二〇〇gを施し、幅一二〇cmのうねを作ります。黒マルチを被覆すると生育が良くなり、除草の手間が省けます。

窒素養分が多すぎると葉ばかり茂って実の着きが悪くなる（木ぼけ）ので注意します。また、前作が野菜だった場合、基肥は施さな

月	4月			5月			6月			7月			8月			
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下



い方がよいでしょう。

種まき・植えつけ

植えつけは株間三〇cm、二条植とします。直まきの場合、一カ所に二粒ずつまき、二程度厚さに土をかけます。鳩がやってくる所では芽が出るまで寒冷紗をかけておくとよいでしょう。

育苗を行う場合は、種まき後十五〜二〇日（本葉一・五枚）の苗を根を傷めないよう注意して植えつけます。

育苗を行う場合は、種まき後十五〜二〇日（本葉一・五枚）の苗を根を傷めないよう注意して植えつけます。

植えつけ後の管理

マルチをしていない場合、花が咲き始めた頃、追肥として化成肥料を一〇㎡当たり一〇〇〜二〇〇gを施します。また、追肥の際、株が倒れるのを防ぐため株元に土寄せします。

収穫

さやの色が鮮やかになりマメが肥大し、指でつまむとまめが飛び出すようになる頃が収穫の時期となります。収穫が遅れるとさやが堅くなり色も悪くなるので注意しましょう。